

修学資金返還明細書の記載要領

コンピュータ入力しますので、下記要領により、横書で記載してください。

番号	項目	記入要領
①	年 月 日	提出又は、郵送の日付を元号で記入する。
②	登 録 番 号	県で記入するので、記入しないこと。
③	本籍、住所、氏名	本籍、住所、郵便番号、氏名を記入する。フリガナを忘れずに。
④	印	認印で可。シャチハタ、スタンプインクは不可。
⑤	旧 姓	貸与後に姓が変わった人は、記入すること。フリガナを忘れずに。
⑥	生 年 月 日	生年月日を元号で記入する。
⑦	電 話	自宅、職場の電話番号及び職場名を記入する。
⑧	出 身 校 名	貸与を受けた学校名、学科名を記入する。 複数の学校で貸与を受けや場合には、各々を記入。
⑨	連帯保証人の住所氏名	連帯保証人の住所、氏名を記入し押印のこと
⑩	貸 与 期 間	貸与を受けた期間を通算で記入する。
⑪	貸与を受けなかった期間	上記貸与期間中で、貸与を受けなかった期間があれば記入する。
⑫	貸 与 総 額	貸与総額を記入する。
⑬	返 還 免 除 額	県内の所定施設での従事期間により算出する。(貸与期間以上勤務した場合には県へ照会してください。)
⑭	要 返 還 額	貸与総額から返還免除額を差し引いた額。
⑮	返還の理由が生じた日	返還理由の生じた年月日を記入する。
⑯	上 記 の 理 由	県外就職、看護業務に従事しない等の返還理由を記入。
⑰	返 還 方 法	該当する方法を○で囲む。
⑱	一括額、月賦額又は 半年賦額 〔内 訳 〕	均等払いを原則とし、端数がでる場合は初回の回数で調整すること。 例 320,000円を12回で支払うする場合 内訳 1, 2回目 $30,000 \times 2 = 60,000$ 3回目以降 $26,000 \times 10 = 260,000$
⑲	返 還 予 定 月 日	月賦は毎月の末日。半年賦及び一括は指定月の末日。
⑳	返 還 期 間	返還開始は返還理由の生じた月の翌日とし、分割払いの場合、返還完了までの期間は貸与を受けた期間内とする。なお、一括払いの場合には返還開始欄に返還する年月を記入する。